

藤沢市総合教育会議 議事録

会議名	平成 27 年度第 6 回 総合教育会議
開催日	2015 年（平成 27 年）12 月 2 日（水）14:00～14:20
場 所	森谷産業旭ビル4階 第1会議室
出席者 (敬称略)	(市側) 鈴木市長 (教育委員会) 小竹伊津子、井上公基、中林奈美子、吉田早苗 (関係職員) 生涯学習部長、保健医療部長、生涯学習総務課長、子ども健康課長 健康増進課長 教育次長、教育部長、教育総務課長

【議事録】

事務局（司会）

- ・ただいまから平成 27 年度第 6 回総合教育会議を開催いたします。会議開催前に、傍聴される方で録画、録音、写真撮影等を行う方はいらっしゃいますか。（なし）
- ・開会に当たり、総合教育会議の座長であります鈴木市長より、ごあいさつをお願いします。

鈴木市長

- ・皆さん、こんにちは。今年も 1 ヶ月足らずとなりました。朝晩、大分冷え込んでまいりましたので、お体には十分気をつけていただきたいと思います。また、年末になりますと、十大ニュースはどうだったとか、世相をあらわす一字は何かといった話題も出てまいりますけれども、私としては実りがついて、また新たな種を蒔く「穂」であると思っております。そういった意味でも教育大綱が実りあるものになってほしいと思っております。
- ・教育総合会議も 6 回目で、いろいろご意見をいただきまして、今日はパブリックコメント用の素案として協議できる形を目指していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局（司会）

- ・続いて、資料の確認をいたします。（資料確認）
- ・これからの会議進行は鈴木座長をお願いいたします。

鈴木市長

- ・それでは、議題（1）議事録署名人について、事務局の説明を求めます。

事務局

- ・本日の議事録署名人は、鈴木市長と井上委員にお願いいたします。

鈴木市長

- ・議事録署名人は私と井上委員ということでよろしいでしょうか。（「異議なし」の声あり）
- ・本日の議事録署名人は私と井上委員に決定いたします。
- ・議題（２）教育に関する大綱（素案）について、事務局の説明をお願いします。

事務局

- ・それではご説明いたします。左側は第５回までの総合教育会議で取りまとめたもの、右側が今回、ご協議をいただく、また藤沢市議会総務常任委員会に報告いたします素案をお示ししております。
- ・まず、第５回会議の協議内容を踏まえ、第６回の素案については、シンプルにして言葉・意味合いの重複を整理しております。特に本文については、コンパクトに強く心に届くようにということで、集約いたしました。
- ・例えば左側の「基本的な方針（本文）」の１つ目にあります「道徳や礼節を大切にしながら社会の変化に対応できる」といったところは、右側の「基本的な考え方（前文）」に溶け込ませていただいております。
- ・左側２つ目の「郷土や文化への愛着」といったところが、単語的に言葉が重複しておりましたので、削除いたしました。また、「家庭、学校、地域」といったところも表現を変えまして、右側の前文にあります「人や地域との関わり」と意味合いを整理いたしました。
- ・左側３つ目の「すべての人が社会参加の意欲を高め」といったところも、右側前文の「役割」といったところに意味合いとして吸収させております。
- ・それでは、右側の方を読み上げますので、耳障りな言葉、心に残る言葉がありましたら、それらを参酌しながらお聞きいただきたいと思います。
- ・基本的な考え方（前文）、「私たちは、学びを通して未来への夢や目標に向かって生きる力を育むことで、地域を輝かせ、やさしく手を差し伸べあう笑顔あふれる幸せなまちをつくる役割を持っています。この役割を果たしていくため、豊かな郷土の自然や歴史、文化などを学びながら、人や地域との関わりの中で道徳や調和を大切に、健やかな心と体をつくる郷土愛あふれる藤沢の教育を学びの環、人の和、元気の輪として未来へつないでいきます。」
- ・基本的な方針（本文）、「１ いつでもどこでもだれでも学びの機会をつくり、学んだことを地域で活かし自らの成長に結ぶ「学びの環」を広げましょう。
- ・１ マルチパートナーシップに基づき、地域社会の一員として共に生き支えあう「人の和」を広げましょう。
- ・１ 心身の体力を育み、他者を尊重して行動する豊かな心で健やかな毎日を過ごす「元気の輪」を広げましょう。」以上です。ご協議のほど、よろしくお願いいたします。

鈴木市長

- ・今までやってきた経過も尊重しながら進めていきたいと思ひます。誰でもわかりやすいシンプルなものということであります。また、藤沢らしいものをつくっていかうと、そして市民憲章よりも少ないものという意識もありましたけれども、そういう中で皆さんのご意見を聞きながら、こいう形になってまいりました。その中でちょっと気になる部分があれば、ご指摘をいただきたいと思ひます。

吉田委員

- ・大変シンプルでわかりやすい文章につくっていただきてよかつたと思ひます。特に前文の前段3行で、どういふ役割を持っているのか、そしてその次の4行で、その役割を果たすために何をすべきかということが明確になっています。ここが前文のいいところだと思ひます。
- ・基本的な方針(本文)については、それぞれ「自らの成長に結ぶ「学びの環」、
「共に生き支えあう「人の和」、
「毎日を過ごす「元気の輪」」というふうに、わかりやすく前段の3つの「環・和・輪」が、それぞれどういふことなのかということがはっきり打ち出せていて良いと思ひます。
- ・ただ、1点気になるところは、3つ目の「元気の輪」のところでは「心身の体力を育み、他者を尊重して行動する豊かな心で健やかな毎日」というのが、つながりが長い感じがありました。もし、いろいろ調整していただく中で、参考にしていただければと思ひますが、「心身の体力を育み」の次に、「豊かな心で他者を尊重して行動し、」と一度切つて、「健やかな毎日を過ごす」、あるいは「健やかで笑顔あふれる毎日を過ごす「元気の輪」」としていただけるといいかと考えました。よろしくお願ひします。

鈴木市長

- ・そろそろ決めていかなければならない時期ですが、確かに日本語のとらえ方としては、その方がわかりやすいかなという感じもいたしますけれども、そのあたりは尊重しながら行つていきます。

井上委員

- ・とてもわかりやすく、また、3行が2行になって、とてもシンプルにブラッシュアップされたと思ひますし、藤沢らしさという点も入つてきておりますので、このよふな形でよろしいかと思ひました。その中で、吉田委員もおっしゃつた、ちょっと長すぎて、どれが主体になるのかわからないところをもうちょっとブラッシュアップする、特に3番目のところはよふなことを感じました。前文についても分量的にはこのくらいのものでなければ説明ができないのかなと思ひますので、よろしいかと思ひています。

小竹委員

- ・私もとてもシンプルにきれいな言葉でまとめられていると思ひました。前文で内容の説明が十分なされている分、後半の3つの文章「学びの環」「人の和」「元気の輪」はとてもシンプルにまとまつていてよかつたと思ひます。

中林委員

- ・かなりシンプルにまとめていただいて、かつ重なっている言葉を全部まとめていただいたことで、本文の方がとてもすっきりしたと思います。小さな小学校の子どもたちから高齢の方まで受け入れやすい、やさしい言葉になったと思っております。
- ・本文の3つ目の「心身の体力」というのを最初に持ってきたことで、パンチが効いていると思いましたが、後者の部分のところは吉田委員の意見の方がわかりやすいかなと感じましたので、そのあたりもご検討いただけたらと思いますが、全体的にはすっきりしたいいいものにしていただいたと思います。

鈴木市長

- ・関係職員の方、いかがですか。

中島生涯学習部長

- ・今、教育委員さんが言われたとおりと思いますが、ご指摘のあったところで、必要な言葉を入れ替えていただいて、極めてシンプルになっています。その中にいろいろ必要な要素が込められているので、主語と述語、かかり言葉がちょっとわかりづらい部分があって、典型的なのは吉田委員がおっしゃったところだと思うのですが、私が1つ気になったのは、「基本的な方針（本文）」の1番の「いつでもどこでも誰でも学びの機会をつくり」のところです。
- ・もともとは「いつでもどこでも誰でも学ぶことができる」だったから、「いつでも」と「どこでも」と「誰でも」が「学ぶことができる」という言葉にかかっていたんですけども、それを「学びの機会」にしてしまったので、「いつでもどこでも誰でも」が「学び」にかかるのではなくて、「つくり」にかかるような見られ方にしてしまわないだろうかというのがちょっとありまして、だとすれば、もともとの「学ぶことができる」というにしておいた方が、日本語的にはかかり言葉が明確なのかなという印象を受けましたが、これは個人的な印象です。

鈴木市長

- ・概ね内容等には問題はないのですが、日本語としての聞きやすさとか、主語、述語の話はもう一度事務局で丁寧に整理していきながら、素案を出していきたいと思いますので、それでよろしいですか。（「異議なし」の声あり）
- ・それでは、年明けのパブリックコメント用の最終案として協議をしてきたわけですが、そういったところを微調整しながら出していきたいと思います。事務局から何かありますか。

事務局

- ・今、いただいたご意見については座長にまとめていただきましたけれども、事務局から少しお伝えしたいと思います。今日の総合教育会議で右側についてご意見をいただいたわけですが、12月市議会総務常任委員会に報告をしていく予定でおりますが、今、吉田委員からいただいたことと中島部長からいただいた内容については、総務常任委員会には反映しないで、このままで報告して

いきたいと思っています。

- ・また、パブリックコメントに向けてのご議論ということもお願いしましたが、パブリックコメントも総務常任委員会にご報告する内容でかけさせていただきます。ただ、総務常任委員会でも議員の皆様からご意見をいただきますし、パブリックコメントでもいただきます。
- ・そして本日、委員の皆様からいただいたご意見も含めて最終案のまとめ・整理をして、再度、総合教育会議でご議論いただく形になるかと思えます。中島部長からいただいた「学ぶことができる」と「学びの機会をつくり」のところの違いについては、ご指摘のとおり、「学ぶことができる」の方が流れ的にはよろしいのですが、学ぶ機会を提供してもらえばかりでなく、自らも学ぶ機会をつくっていくんだということも含めて言うと、こういうふうな言い回しになっているというところがありますが、これはまた改めて整理をさせていただきたいと考えております。

鈴木市長

- ・それでは、この件はそのように進めていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。
- ・議題（3）その他ですが、事務局から何かありますか。

事務局

- ・特にございません。

鈴木市長

- ・それでは、本日の議題はこれにて終了いたします。

事務局

- ・先ほど説明いたしましたように、今後は総務常任委員会、そしてパブリックコメントにおいて、本日、お示ししました資料右側の内容により、報告、ご意見をいただく形になります。パブリックコメントに関しては、年明けの1月下旬から1カ月の予定ですので、よろしく願いいたします。
 - ・以上をもちまして、平成27年度第6回総合教育会議を閉会といたします。
- 次回の日程については改めてお知らせいたします。本日はありがとうございました。

(午後2時20分 閉会)

2016年（平成28年）1月14日

この会議の経過を記載し相違ないことを確認する。

藤 沢 市 長 鈴木恒夫



藤沢市教育委員会委員 井上公基

